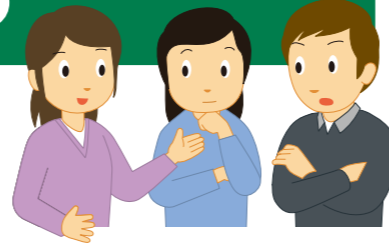


備え (隣近所とのコミュニケーション)

地域の防災力を高めるために町会や自主防災組織に加入しましょう。

町会に加入しましょう

災害時には地域での助け合いが大切です。
過去の大震災では、近所の人々によって救われた命がたくさんあります。
町会(自治会)を通じて普段からご近所さんと顔の見える関係を作りましょう。



自主防災組織に参加しましょう

「私たちのまち是我们で守る」という地域住民の思いと連帯意識の下に、町会(自治会)を基に自主的に結成された一番身近な防災活動組織です。お住まいの地域に組織があれば防災訓練などの活動に積極的に参加しましょう。



災害用伝言サービス

地震や洪水などの災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル(171)」・「災害用伝言板サービス」・「災害用伝言板(web171)」が開設されます。

災害用伝言ダイヤル

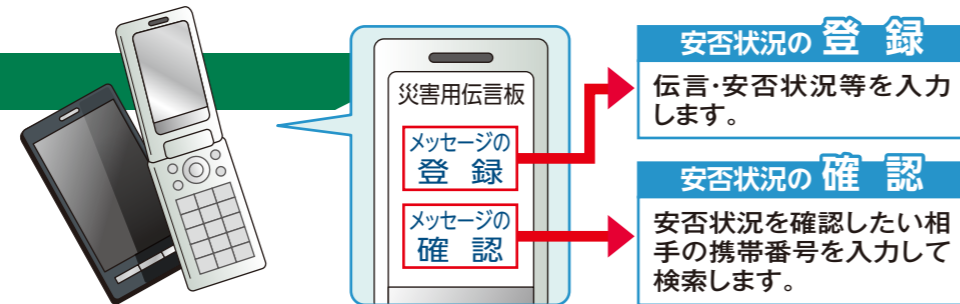
このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。

体験利用日

毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間(8月30日~9月5日)
防災とボランティア週間(1月15日~1月21日)

災害用伝言板サービス

携帯電話を使って被災者は安否状況の伝言を登録し、外部の人がその伝言を確認できます。携帯電話のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、伝言の登録・確認を行います。



災害用伝言板(web171)

<https://www.web171.jp/> 左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください。

わが家のマイマップを作ろう

この総合防災ガイドマップは、市民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、自ら危険箇所を、シールなどを用いて書き込める仕様としています。災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭や地域で次のようなことを確認し、避難場所や避難経路などはマップに記入しておきましょう。

ステップ1 あなたの家はどこですか？

まず、洪水ハザードマップであなたの家を探して、予想されている被害の有無・程度(浸水範囲に入っているか、浸水深は何mか、など)を確認し、自宅シールを貼りましょう。



ステップ2 あなたの避難先はどこですか？

次に、目標とする避難先を確認して、避難所シールを貼り、避難先までの経路を考えてみましょう。浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。



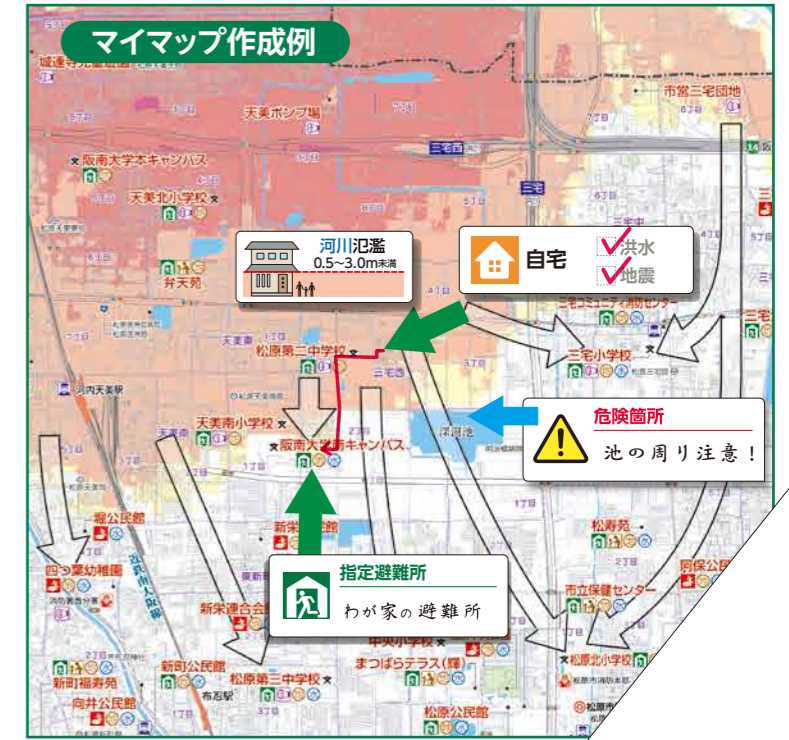
ステップ3 実際に避難経路を歩いてみよう

家族みんなで避難先まで歩いてみましょう。洪水ハザードマップを持って危険なところなどをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や所要時間を確認しましょう。



ステップ4 洪水ハザードマップに書き込もう

安全に避難先まで行けるように、わが家の避難地図(マイマップ)をつくりましょう。記入例を参考に、ステップ3で調べたことを書き込んで、一番安全な経路を確認しましょう。



松原市総合防災ガイドマップ

令和2年4月発行
発行：松原市
〒580-8501 大阪府松原市阿保1丁目1番1号
TEL 072-334-1550(代表)
※掲載内容は令和2年3月1日現在のものです。
発行後、掲載情報に変更がある場合もありますのでご了承ください。

添付のマイマップシールを貼って、より分かりやすくしよう

- 災害が起こったときに避難する場所(指定避難所・指定緊急避難場所)、避難経路、避けるべき場所(危険箇所)などを家族で話し合おう。
- 話し合いの結果をもとに、マイマップシールを使って「わが家の避難場所洪水ハザードマップ(マイマップ)」を作成しましょう。